

編集者のことば

本書は、「都市研究報告」の第46号より第49号までを合本して刊行したものである。

「都市研究報告」は、東京都立大学で都費によりおこなわれている都市研究の成果を報告する印刷物で、1969年3月にその第1号を刊行して以来、本年3月までに合計45号にいたった。それまでの印刷様式は、個々の報告書ごとに、タイプ・オフセットにより、原則としてA5版のパンフレット型であった。

当初においては、そのような印刷様式でもやむをえなかった事情があったが、研究が次第に進展するにともない、学術論文としてもっと適当な様式を待望する声がおこってきたのも、また当然である。その声も、現実の諸条件に制約されて、なかなか具体的な要求としてあらわれるにいたらないでいたが、本年度にいたり、その機をとらえ、本書のように、活版B5版と規格を変え、いくつかの報告を合本して印刷刊行することとなったものである。

そのきっかけとなったことは、本年度から、本学における都市研究体制が変り、報告書の印刷刊行も将来の飛躍にそなえて改善をすることが、むしろ必要となったことである。だが他方、将来にわたって永続的な様式をただちに確定して実施するだけの条件もととのっていない。そのような状況のなかで、本年度はとりあえずこういう形で刊行することにした。つぎの段階には、さらにより永続的、確定的な様式をとることができることを念願してやまない。

本書に集録した各編は、いずれも1972年度におこなわれた研究の成果である。原稿はすでに73年度中に提出されていたのだが、同年度後半におこった印刷費の暴騰により予算がいちじるしく不足したため、印刷を本年度にもちこさざるをえなくなったものである。

1974年7月

東京都立大学都市研究委員会

編集委員長

千葉正士